

研究課題名	DPC データを用いた脳血管障害に対する治療後の転帰、合併症の経年変化とフレイルの関与に関する研究
研究期間	実施許可日 ~ 2030年12月31日
研究の対象	2011年1月から2020年12月の間に、DPCデータベースに登録された方。
研究の目的・方法	<p>研究目的：日本の全国データベース（DPCデータ）をもとに、脳血管障害に対し外科的治療を施行した症例において、暦年齢および生物学的年齢、手術方法の違いを含め、術後転帰に関わる因子やその関連性を検討することです。</p> <p>研究の方法：本研究はDPCデータベースに登録されているデータを用いた解析です。厚生労働省から本学へ提供されたDPCデータを解析し、得られた評価結果を島根県立中央病院、および東京大学大学院が受け取り、本研究の研究者による解析結果のレビューを行い、結果を評価します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>データベースから使用する内容は年齢、性別、破裂脳動脈瘤、未破裂脳動脈瘤、脳梗塞の種類、術前重症度、退院時転帰、治療方法、術後の合併症、転帰等に関するデータです。データベースを運営している厚生労働省より、どなたのものか分からないようにしたデータの提供を受け、研究に用います。</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院脳神経外科 教授 堀江信貴</p>
外部への試料・情報の提供	共同研究機関への情報提供は、電子メールにて送付することで行います。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2023年5月18日）
個人情報の保護	研究に用いるデータは個人が特定できない状態でデータベースに登録されている画像を用いた研究のため、研究者にもどなたの情報か特定することはできません。公表される結果にも、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
研究組織	<p>本学の研究責任者（研究代表者）</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江信貴</p> <p>研究機関の長</p> <p>広島大学理事 田中純子</p> <p>共同研究機関</p> <p>島根県立中央病院脳神経外科 部長 井川房夫</p> <p>東京大学大学院医学系研究科 特任助教 道端伸明</p>
その他	

連絡先・お問合せ先	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5227 広島大学病院 脳神経外科 医科診療医 桑原政志 教授 堀江信貴
-----------	--